



## SPECIAL OLYMPICS WORLD WINTER GAMES AUSTRIA 2017

Graz | Schladming | Ramsau | Styria

### 中村 亘さんスラロームで 4位入賞の健闘

2017年3月14日～25日にかけてオーストリアで開催された世界大会は、107の国と地域より約4,000名の選手団が参加し、約3,000名のボランティアの方々にご協力いただき、盛大な大会となりました。

日本選手団は、アスリート54名が、アルペンスキー、スノーボード、クロスカンリースキー、スノーシューイング、ショートトラックスピードスケート、フィギュアスケート、フロアホッケーの7競技に参加しました。

大阪からは、アスリート1名、コーチ1名、役員1名の3名が参加をし、世界の舞台で日頃の成果を発揮し、一回りも二回りも成長して、参加各国のアスリートやコーチと交流をし、元気に帰国いたしました。

アスリートの中村亘さんは、日頃陸上競技や水泳競技のトレーニングに参加し、基礎体力をつくり、今回アルペンスキーに参加しました。ジャイアントスラロームとスラロームにエントリーし、ジャイアントスラロームにおきましては、残念ながら転倒で失格となりましたが、スラロームにおいて4位と健闘しました。ジャイアントスラロームの決勝競技の日が、中村さんの誕生日であり、表彰式会場で応援の皆さんが、「Happyバースデー」の大合唱となり、感動の誕生日となりました。

私が、担当したスノーシューイングは、8名のアスリートが参加をしました。周りの応援や競技環境にも恵まれベストタイムが続出しました。予選記録を大幅に上回りマキシмумエフォートルールによる失格者も出ました。日頃の練習や国内大会においても、常に全力でというスペシャルオリンピックスの理念を実践しないといけない事を実感する事が多くありました。

(事務局次長 柳井 祥晴)



### Happyバースデー の大合唱

スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストリアは、僕にとっては最高の思い出となりました。

3月13日から26日までのスケジュール、先ずは風邪を引かないように3月から気をつけて生活しました。そして13日がきました。東京での結団式です。日本選手団が集まります。僕はアルペンスキーに出場します。

合宿での友達と再会して、嬉しくて、結団式でみんなが盛り上がり興奮してきました。翌日の飛行機は13時間ほどと長かったけど、これからの楽しみがあってワクワク。

やっとオーストリアのウイーンに到着、ホスタウンの町では巨大ゴンドラ観覧車、遊園地、スリルドライブとアスリート全員で楽しんで、また香港・中国・モンゴル・韓国の友達とパッチの交換ができたのがとてもうれしかった。また、宮殿のような建物は、中が高級ホテルみたいに豪華、ここが市役所と聞いてびっくりしました。また散歩に行ったりスーパーで買い物したりで仲間と楽しく過ごせました。いよいよ、スキー場に到着、練習をしました。

20日からジャイアントスラローム・スラロームの予選・決勝です。ジャイアントスラロームは失敗しましたが、スラロームは無事に滑れました。

表彰式の23日が僕の誕生日でした。そこでサプライズがあり表彰式の時に祝ってもらい、オーストリア、全世界の人たちにHappyバースデーを歌ってもらい、また友達から誕生日の寄せ書きをもらい感動して帰ってきました。

最高の思い出をありがとうございます。

(アスリート 中村 亘)

### それぞれのアスリートに ドラマが

息子が、最初のジャイアント・スラローム競技



写真右端 中村 亘さん

で転倒してスキー板が外れコースを通過出来ずに失敗しました。ゴールしてから泣き崩れパニック状態になりましたが、その状況を支えて下さったのがコーチやアスリート達の言葉「僕だっていっぱい失敗しているよ」、それを聞きすぐ感動しました。

次の日のスラローム競技では、本人の恐怖とプレッシャーはすごくあったと思います。私は、気持ちの切り替えが出来ているのか心配でしたが2回の競技を無事に滑り終えて、ひと安心しました。コーチから息子に「あきらめなくて良かったね」そして「みんな仲間だよ」の言葉にまた胸に突き刺さり感動しました。それぞれのアスリートにドラマがあったと思います。

表彰式では素晴らしいサプライズがありました。この日は息子の誕生日です。司会者から子供のバースデーコールがあり、会場にいた様々な国の人たちからHappyバースデーの大合唱で祝福を受けました。忘れられない誕生日にしてもらいました。

また、チームのみんなからはバースデーメッセージの寄せ書きをプレゼントされ、嬉しそうに見せてくれました。それぞれの心のもった「おめでとう」が書かれてあり、息子にとって大切な宝物になりました。自然で美しい国オーストリアで感動をもらって帰って来ました。世界大会に出場させて頂き、誠にありがとうございました。

(ファミリー 中村 真智子)



## 5月28日(日) 花博記念公園・鶴見緑地

第24回を迎えた「5時間共生・共走リレーマラソン」に参加しました。5月28日(日)花博記念公園・鶴見緑地ハナミズキホールを基点にして、1Km周回コースで行われました。今年は、98チーム891名の参加でした。好天に恵まれ体調管理が大変だったと思いますが、暑さに負けずに、アスリート15名とボランティア17名の参加者で、5時間を1本のタスキをつないで、46周(約49km)完走することが出来ました。

アスリートの健康・食事面も考慮して、12:00

～12:40は、アスリートの休憩時間にして、ボランティアでタスキをつないで途切れることなく走りました。

今年も多くのボランティアに支えて頂き、大会に参加する事が出来ました。最後になりましたが、ファミリーの皆様、ボランティアで参加して頂きました株式会社アサヒディードの皆様、SON・大阪のボランティアの皆様、ご協力有難うございました。

(ヘッドコーチ 糸瀬 力)

## アスリートと喜びを分かち合えることが

昨年も「共生・共走リレーマラソン」へ参加させて頂き、今年は2度目の参加となりました。伴走のお手伝いとして参加させて頂いておりますが、恥ずかしながらいつもアスリートの方々についていくことができず、背中を追い掛けるばかりとなってしまいます。

ボウリングや水泳競技等、他の競技にも挑戦されているアスリートの方が多く、何事にも一所懸命に努力されているお話を伺い、いつも驚かされております。また活動に参加させていただき、短い時間ではありますがアスリートの方々と喜びを分かち合える事で、とても温かな気持ちにさせて頂いております。

今回参加させていただいた弊社メンバーには新入社員もおり、会場に到着した時は初めての経験ということもあり、不安そうな顔をしておりました。しかしながら、アスリートの方々とのコミュニケ

ーションを取り、伴走する事で、すぐに打ち解ける事ができていました。最後には一緒に記念撮影を行い、笑顔で帰路につく姿はこの活動に参加させていただいたからこそ得られた貴重な経験だと感じております。

私たちがこの活動に参加させて頂く事で多くの学びを得る事ができております。これからもアスリートの皆様のお手伝いさせて頂きながら、共に成長できることを願っております。

(株式会社アサヒディード 永谷 岳史)

### ●ファミリー 藤川 久美

リレーマラソンに、今年も参加させて頂き、有り難うございました。例年、春の行事として、我が家でも位置付けています。子供も、楽しみにしているようです。コーチ及び、ボランティアの皆様、暑い中、ありがとうございました。

### ●アスリート 浅野なつみ

このマラソンに参加したのは、今年で二



回目です。今年もお天気が良くて、よかったです。木がたくさん生えている横を走るのは、気持ちよかったです。コーチやアスリートの人たちと一緒に走れて楽しかったです。私は4周走りました。車いすの男の人が一人でずっと走っていたのは、すごいなと思いました。私も、できれば、もっと走りたかったです。でも、最近、運動不足だったので、体を動かすいい機会になりました。来年も参加できたらいいなと思います。ありがとうございました。

### ●ファミリー 糸瀬 洋子

暑いぐらいの天気の中、ケガもなく参加出来てよかったです。我が子も、伴走のボランティアに負けないように、頑張って走っていました。アスリートが、15名と少し寂しい参加人数でしたが、ゆったりと楽しんでいました。また、来年参加出来る事を楽しみにしています。